

記者の日常 報道の現場から

Wフォーラム



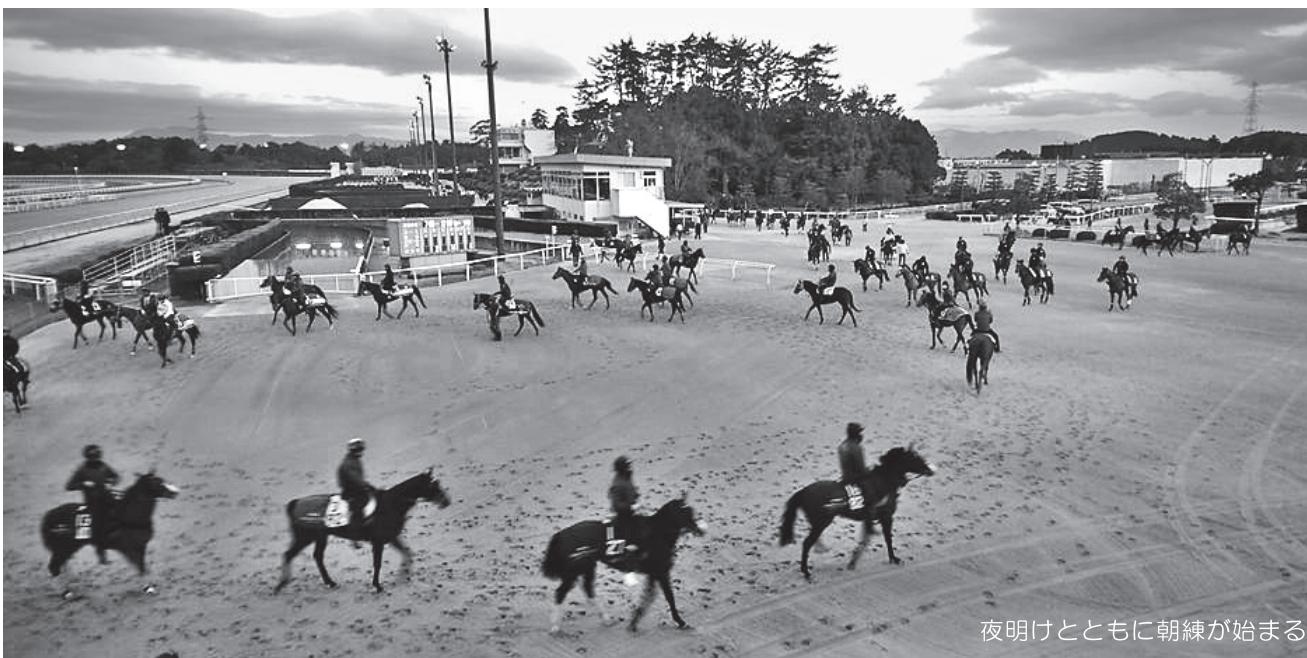
Wフォーラム講演会の2017年の大トリは、チーム共同通信社に登場いただき、12月19日、大阪新阪急ホテルで開催しました。

まず、編集局長の広瀬圭一さん(昭61年政経)が解説してくれました。共同通信社は、新聞放送各社からの出資で運営される非営利法人で、公的支援は受けず、世界中からの情報をマスコミ各社に配信しています。広瀬さんは24時間休みなく上がってくる現場情報を厳しくチェックする要の立場におられます。

片や、この日のもう一人の講師の川上宏さん(平12年政経)は府警報道キャップとして現場の最前線に張りつく事件記者。お二方のお話は、現場の緊張感漂つ気合の入った内容で、1時間半の持ち時間では収まりきれないものがありました。講演・懇親会の後、夜も更けた街を再び職場へと急ぐお二人。本当にありがとうございました。

豊島恵子(昭52年法)

サラブレッドの朝練を見る



夜明けとともに朝練が始まる

そういうそれと体験できない企画が登場するのも大阪早稲田俱楽部ならでは。競走馬の訓練施設であるJRA(日本中央競馬会)の栗東トレーニングセンター(滋賀県栗東市)にてのサラブレッドの調教見学がそれです。馬主でもある尾田沙智乎・副理事長の肝いりで実現し、2月6~7日の1泊2日で11人が参加しました。

6日夕方に現地集合し、翌7日夜も明けきらぬ中、厩舎から次々と現れる馬、また馬。約1000頭ものサラブレッド。追い切りと呼ばれる朝のトレーニング、朝練です。吐く息も白く、駆けてゆく。この追い切りで馬は8キロもやせるんだとか。

名伯楽の調教師・松田国英さんに前夜より、解説していただきました。その熱っぽいお話に、サラブレッドの調教に命を懸けている職人魂を感じました。尾田家の名馬マコト・サダイイジン君と若手ワークスのマコト・キッショウ君も登場。かつこよかったです。厩舎も見学させてもらいました。アメリカより輸入の高級飼い葉を食べて



豊島恵子(昭52年法)



イケメン騎手を囲んで話がはずむ



「飼い葉は新鮮なものを」と松田調教師



青年部

若手の集うクリスマス

青年部が主催するクリスマス会が12月16日、南船場の「THE GOOD TIME」で開催された。俱楽部にはいろんな部会やイベントがあるが、若手が気軽に参加できるようにと恒例になつたざつばらんなクリスマス会。子供連れ大歓迎にして子供さん6人を含め31人が参加する盛況の会になった。先輩方からはクリスマスプレゼントや協賛金もいただき、感謝感謝。予定の2時間を超えてお聞きが残念だったとても楽しい会でした。

秋元敬典(平12年商)



人気の「食べ歩き会」は2017年11月25日、上海料理「其蘭(きらん)」(大阪市天王寺区)で開催され、17人が参加した。なかなか予約が取れない人気店で、俱楽部の中でも以前よりリクエストが多く、やっと実現した。中華料理と言つても地域によつて具材や調理法も違うが、ここは上海から来日した美人店主の包丁さばきがまた格別。蒸し小龍包や黒酢豚、海鮮おこげ、牛肉味噌炒め、上海焼きそば、ふかひれスープなどの逸品に次々と箸が進み、紹興酒のおかわりもエンドレス状態で、大満足のひとときでした。

食べ歩き会

上海料理に舌鼓